

## 6 - 1 熊本市付近の地震活動

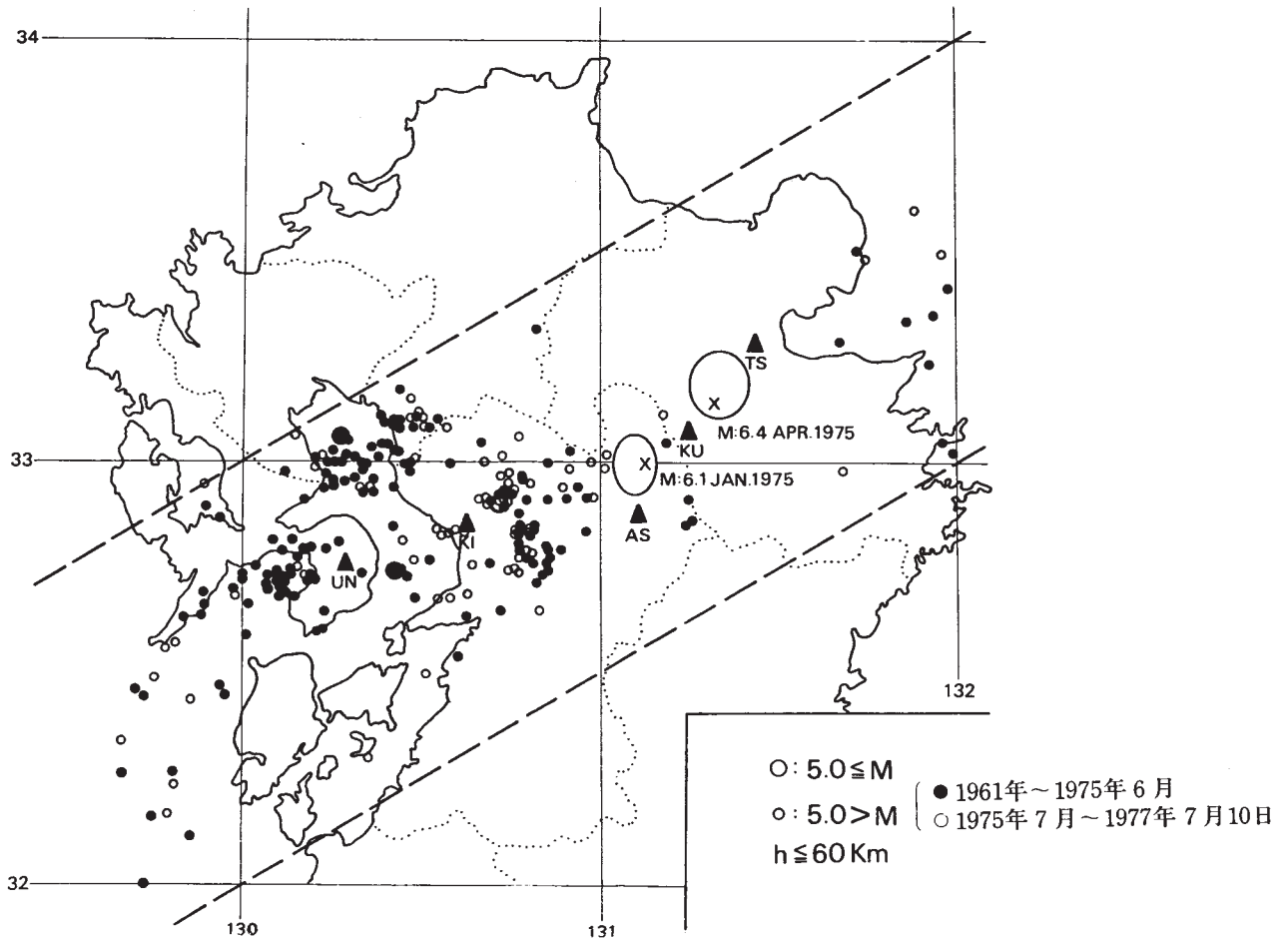
### Seismic Activity near Kumamoto City.

気象庁地震課 地震活動検測センター  
SAMC, Seismological Division, Japan Meteorological Agency

第1図は九州の大分・熊本・長崎県を結ぶ地域の1961年以後の地震の震央分布図である。同地域は九州地方の内陸部の地震活動としては、比較的に活発な地域として知られている。そして、1975年には、同地域としては地震活動の低調であった大分県中部と熊本県東部に、それぞれ阿蘇北部の地震（M6.1）と、大分県中部の地震（M6.4）が発生した。また、熊本市付近も図のように、最近では周辺の地域に比べて比較的地震の発生が少ない状態が続いていた。しかし、1977年4月以後は、熊本市付近の地震活動の空白の部分埋めるような地震が発生し始め、その発生の時間的変化は第2図のようになっている。そして、震央のうつりかわりを詳細に調べてみると第3図となり、空白域を埋めるようにA、B、C、D、Eという順序で地震が発生し、現在までの最大規模のものは6月28日にE領域で発生したM5.2の地震である。そして、図中点線で囲んだ領域は常に多少の地震が発生している所である。

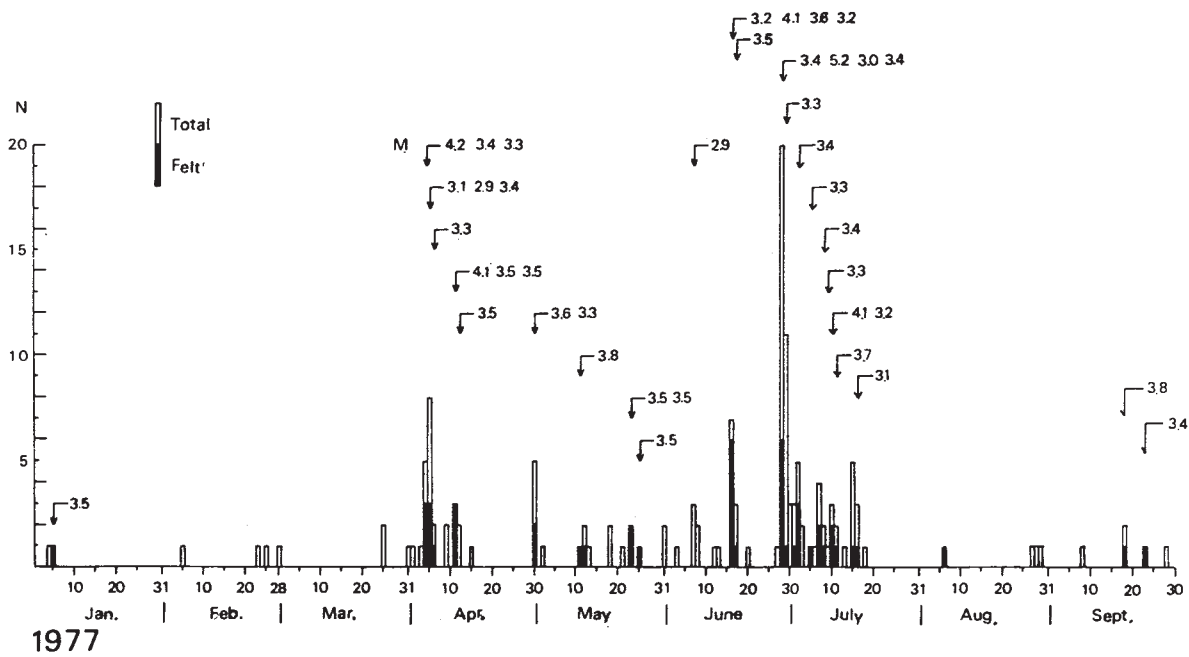
最近では微小地震観測が整備されて、日本の内陸のような比較的狭い地域でも、地震活動の空白域を埋めるような地震活動のあることが、いくつか見出されてきたが、今回の地震活動もその一つである。

なお、第4図は6月28日11時46分の地震の初動分布であるが、発震機構は4象限型で、pressure軸はほぼ東西、tension軸はほぼ南北で、従来同地域に発生している地震のそれとほぼ同じである。



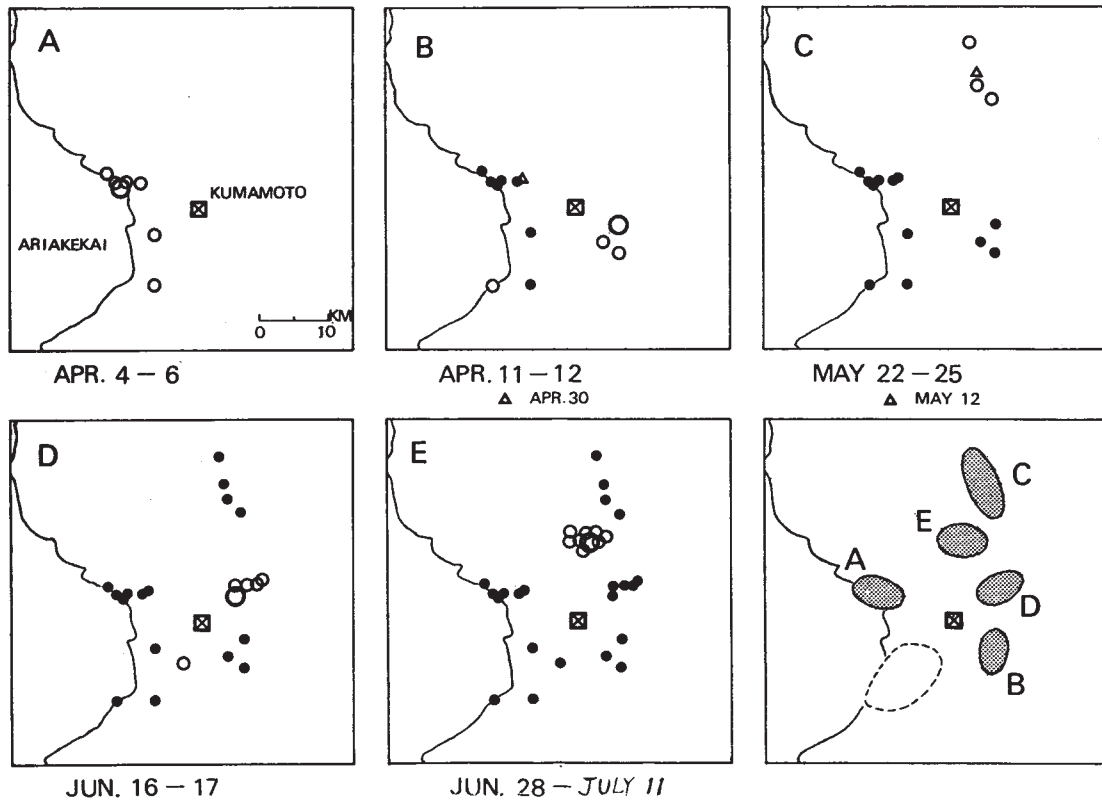
第1図 大分, 熊本, 長崎県付近の震央分布図

Fig. 1 Distribution of epicenters near Oita, Kumamoto and Nagasaki Prefectures.



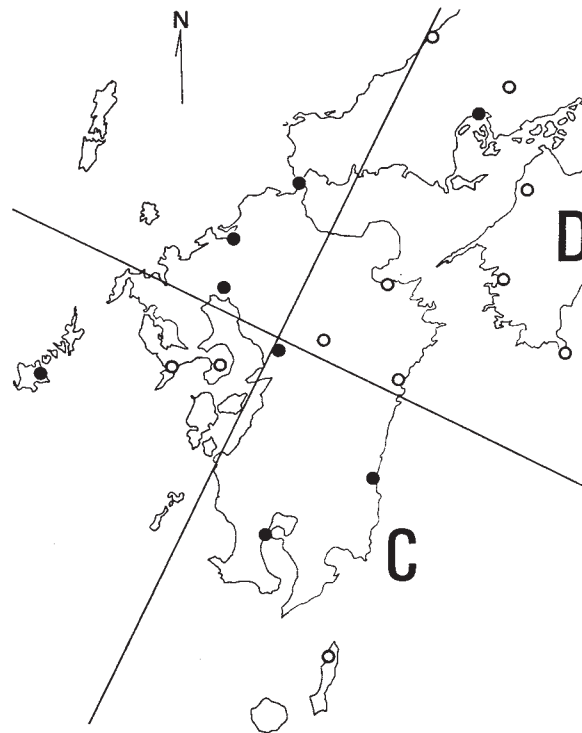
第2図 熊本市付近の地震活動の変化

Fig. 2 Variation of seismic activity near Kumamoto City.



第3図 熊本市付近の震央分布の変化

Fig. 3 Change of distribution of epicenters near Kumamoto City.



第4図 6月28日11時46分の地震の初動分布  
(○:引き, ●:押し)

Fig. 4 Distribution of compression and dilatation of initial motions (11h46m(JST), June 28, 1977).